# 七つの基本施策で未来への村づくり

## 吉井善嗣・野迫川村新村長に聞く

## 雲海景勝地など観光発信力強化！・Uターンで人口増を

**元村職員同士の野迫川村長選を制した吉井善嗣・新村長はきょう20日、村職員に迎えられ初登庁した。吉井氏は初当選を決めた5日夜、興奮冷めやらぬ中で定住や移住施策、高齢者福祉、村出身者に対する帰省と交流人口の活性化など、今後の村づくりへの思いや公約について本紙インタビューに答えた。以下は一問一答。**

「Iターン、Uターンで人口増を目指したい」などと語る吉井新村長＝5日夜、野迫川村北股のゲストハウスで

### きょう初登庁

**―選挙戦を振り返って今の気持ちを。**

村民の皆さんの「よし行け」という、その結果と受け止めています。責任を重く感じております。

**―どのような選挙戦を展開されましたか。**

私の陣営は野迫川の若い方全員が「吉井、がんばれ」ということでついてくれてました。ですから、クリーンな選挙、真っすぐ真面目に、夢のある村づくりを訴えるという方針で戦ってきました。

**―公約に7つの基本施策を立てておられますが、まず最初に財政健全化の方から。**

これについては、やはり村民の皆さんに負担をかけるのではなく、まず自分が身を切ること、この施策を村民の皆さんに訴えました。村長、副村長、教育長の報酬削減を行います。それから、日本全国ふるさと納税が注目されているので、収入源のないこの村では、この制度をなんとか活用して収入源増を図っていきたい。そのように思っています。

**―ふるさと納税は大切な要素ですね。高齢化率が50％を超えています。高齢者対策については。**

デマンド交通ですね。予約制の自由交通です。行きたい時に行きたい場所に「ドアからドアに」というふうに行ける。やはり高齢者、車のない方の買い物支援、病院通院支援を行っていきたいと思います。

**―そのほかの高齢者支援については。**

これだけ高齢者の多い野迫川村では、今までこの村を支えてくれた高齢者の皆さん、発展させてくれた皆さんに私たち現役世代が恩返ししなくてはなりません。寄り添い、支え合い、高齢者の皆さんが「ここで住んでいて良かったなあ」と言ってくれる村づくりを行っていきたいと思います。

**―子ども・若者子育て世代の支援については。**

人数は少ないですが、精一杯子育て支援をして、来ていただいた方に「こんなところに、こんなええ村があったのか」と気づいていただけるよう、その仕組みをつくっていきたいです。

**―地域おこしには観光と移住・定住は欠かせません。その点についてはどうですか。**

観光といっても野迫川村は観光名所があまりないと思われています。発信力がなかったのかと思います。これからは四季折々行ける雲海景勝地、自然の紅葉を日本中の皆さんに観ていただき、堪能してもらえるようにしていきます。

この村には熊野桜があります。これをどんどん積極的にアピールしていきたいです。そして、来ていただいた方に「こんなところに、こんなええ村があったのか」と気づいていただけるよう、その仕組みをつくっていきたいです。

**―高野龍神スカイラインのすぐ近くに、鶴姫伝説が残る「鶴姫公園」があります。今後、大きな観光スポットになると思いますが。**

あそこは何と言っても星空がきれいです。春には桜が咲きます。展望台、幸せの鐘「天空の響き」が備わっています。鶴姫についても、分かり易く説明されています。公園入口には総合案内所・特産品販売を兼ねた「レストラン鶴姫」があります。今はコロナの関係もあり閉めていますが、今後、レストランをどのように開けるかなど、職員と共に詰めていきたいと思います。

**―一方の移住・定住の方はどう考えていますか。**

地域の人材確保のためには、移住者の受け入れを進めなければなりません。来ていただいたIターンだけではなく、Uターンも積極的に進めます。

一度、就学のために村外に出た若い世代に戻ってきてもらえるようなシステムを構築します。また、移住者が気軽に住むことができる住居を確保するために、空き家の整備を支援していきます。

**―地域交流施設の整備を公約の一つに挙げられていますが。**

各集落に生活改善センターがあります。ここに風呂、シャワールームだけ付ければ、十分、帰村された方々が、お墓参りに帰っても、一泊していただける。そして地域の方とまた交流が深まる。60の定年後でも「やっぱり野迫川村に帰りたいなぁ」と言っていただけるよう、村民の皆さんと共にお迎えしたい。そのように思っています。

**―森林資源の整備・活用については。**

野迫川村は古くから山林の村でした。やはり、村の財産は森林資源です。今では間伐して山に寝かすだけ、腐らせて終わりになっています。あまりにも祖先の方々に申し訳ない。山の遠くまで植えていただいた木を腐らせるのはもったいない。やはりエネルギー、これからは森林資源をエネルギーに替えて、なんとか国、県に指導いただきながら、検討していきたいと思っています。

**―ところで、村内にはまだまだ狭あいな道路が残っています。**

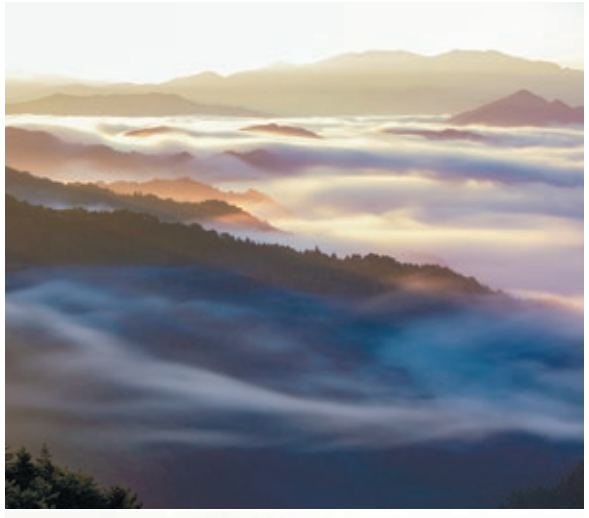
県道、林道とも県とも相談しながら道路拡幅工事を含めて、前進させたいと思います。

**―最後に2点。行政改革についての考えは。**

行政改革をするのは初めてですので、すぐには思い切ったこともできないでしょうし、現在勤めてくれています元同僚、課長の皆さんといろいろ話し合いをしてからになります。

**―そして、野迫川村をどのような村にしていかれますか。**

やはり人口減少対策ですね。行政が何かをしようと思っても人手不足で足踏みをしてしまうということになっています。やはり人口増を目指して、今後、この村を守っていただける方につなげていくように、私は精一杯頑張っていきたい。そのように思ってます。



㊤「天空の國」にふさわしい雲海景勝地＝野迫川村上、写真は村役場提供㊦鶴姫公園にある幸せの鐘「天空の響き」。夜は星空が魅力的